

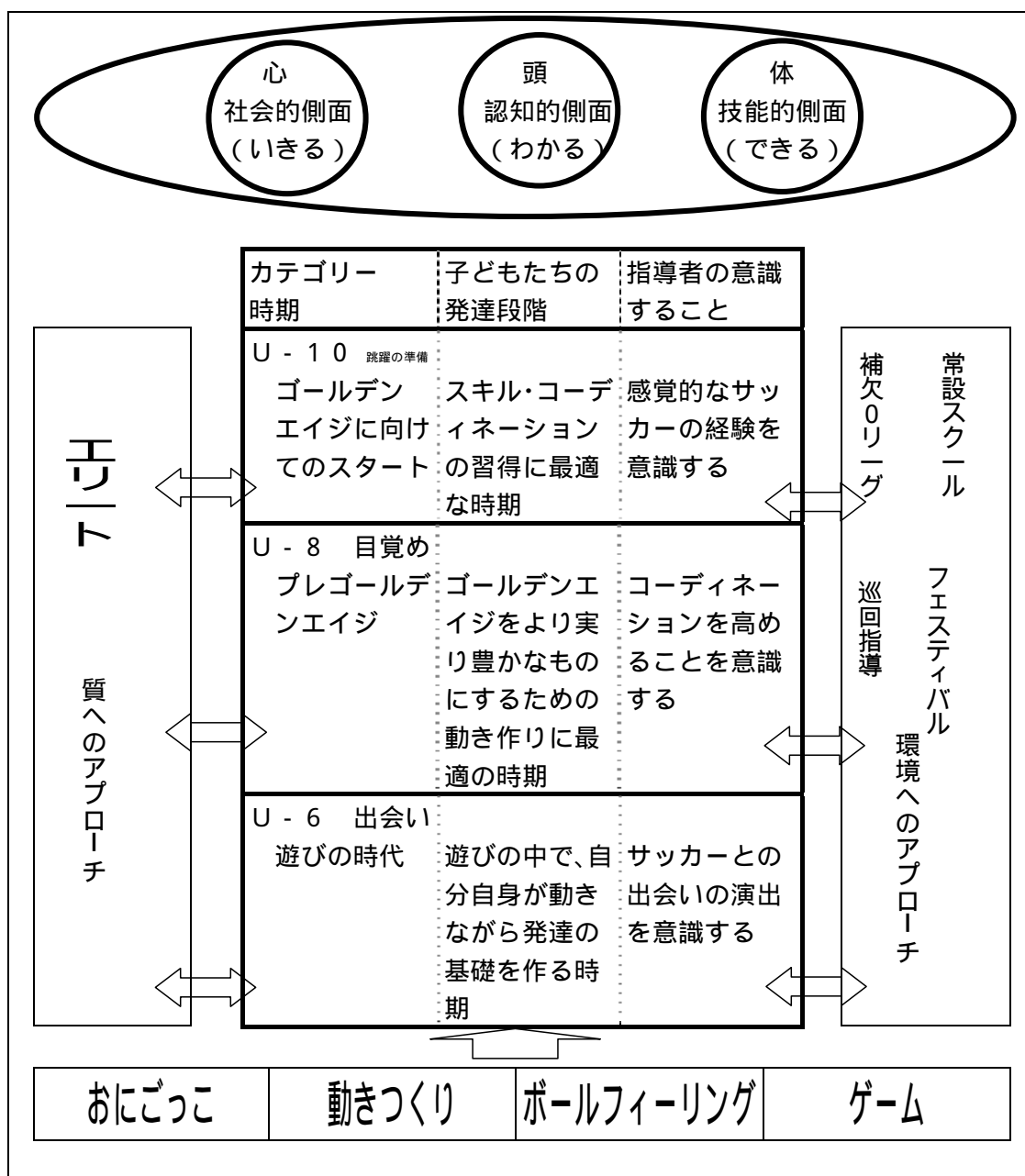
# Road to Enjoy soccer!

~サッカーを楽しむための道~

## サッカーを楽しむ子どもの育成

「サッカーを楽しもう！」

### 1 キッズ全体像



## 2 指導者が意識すること

<b>頭 わかる</b> Brain 認知的側面	<b>技 できる</b> Ball control 技能的側面	<b>体 できる</b> body balance 技能的側面
<b>サッカー理解</b>  目標 ・スモールサイドゲームを活用し、Tactical Awareness (サッカーのイメージ、戦術の気づき)の導入をする	<b>サッカー理解</b>  目標 ・ボールフィーリングをキッズ年代でマスターしたい。 ・左右差異なくできるように ・ストレスなく顔が上がり周りが観られる準備を。	<b>サッカー理解</b>  目標 ・全身コーディネーションを高める。 ・運動学習能力・神経系トレーニング能力を高める。 ・新しい状況、課題に対応する力を高める。
意識して育成すること ・判断力 ・創造力	意識して育成すること ・ボールフィーリング 【キッズ年代でマスターしたい】	意識して育成すること ・コーディネーション ・体づくり
スローガン 「次どうしよう？」	スローガン 「ボールは友達！」	スローガン 「きたえようからだ！」
具体的内容 ・鬼ごっこを通して、判断力。 ・論理的思考	具体的内容 ・ドリブル スクリーン&ターン フェイント ・キック 多種多様なキック 左右の差がなく蹴る ・コントロール 止める	具体的内容 ・鬼ごっこや体づくりを通しての鍛錬。 ・コーディネーショントレーニングを用いる
<b>心 いきる</b> Heart 社会的側面		
<b>自立</b>  意識して育成すること ・楽しむ : 勝ってうれしい、負けて悔しい、次がんばろう。 ・自我欲求 : 「僕を見て！」の気持ちに応えてあげられる指導 ・夢を持つ : 夢を持つ。あこがれを持つ。夢があれば強くなる。 ・フェアプレー : グリーンカードの推奨 ・全力でプレー : 一生懸命の心地よさを味わわせる。 ・成功と失敗 : 失敗しても、次に気持ちを切り替える。チャレンジの心 ・友達・仲間 : 協力する心 ・しつけ : ルールや決まりを教える。 スローガン 「仲良く楽しもう！」		

### 3 指導の考え方

#### (1) 大原則

- ・個人差に対応した個への働きかけ  
個が各自に応じて、最適に伸びていけるように指導環境を整える。  
指導の質の向上  
個が伸びられることを可能にするための場、体制、指導者の整備。

#### (2) 楽しむ

- ・サッカーの楽しさを味わってもらえる環境を整える  
からだを動かすことが楽しい！うれしい！おもしろい！  
スポーツの感動を多くの子どもたちに経験させたい。  
出会い 目覚め 覚醒
- ・勝ってうれしい！シュートを入れてうれしい！  
負けて悔しい... 負けたくない！  
これらの経験、表現を大切にしたい。

#### (3) 学習

- ・楽しむだけからの脱却も考える。
- ・よりよくやらせて、学習させる。
- ・良い環境を与えて、どんどんプレーさせる中で、成長を促す。
- ・「サッカーを学ぶ」から「サッカーで学ぶ」への変換。

#### (4) 環境～場でしむける～

- ・目的を持ち、場の設定により様相が変わることを意識。
- ・意図を持って使い分ける

#### (5) 様々な経験

- ・論理的思考、様々な運動・他競技、感動体験、様々な人との交流など。  
サッカー選手としての大成のために、また、人としての成長のために。  
「サッカーを学ぶ」から「サッカーで学ぶ」への変換。

#### (6) 発育発達に応じたアプローチ

- ・低年齢からレンガを積み上げていくことが成長・育成・強化に不可欠。
- ・レンガの積み上げとは、その時期に最も有効な刺激を与えていくこと。
- ・「自分たちの扱っている選手は、日本代表とは関係ない」ではなく、日本代表に入る可能性のある選手（orではなく、andの選手）を多くすることが、代表の層を厚くしてレベルを上げることにつながる。
- ・攻守に関わり続ける選手を育成するためには、低年齢からのレンガを隙間を空けることなく積んでいくことが必要。

## 4 指導に関わる環境整備

子どもたちが、楽しくサッカーをすることができる環境作りを行う。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのためにという強い思い</li> <li>・質の高い指導</li> <li>・連携のとれた指導</li> <li>・中央講師招聘</li> <li>・キッズに関わるスタッフ1000人以上へ。</li> <li>・岩手県内全ての市町村でキッズリーダーを配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール1人1個</li> <li>・ゴール1組以上、各地区に保管</li> <li>・ビブス、コーン、マーカーの常備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド、体育館の常時確保。</li> <li>・早めの日程調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IFA予算からの常時30%の確保</li> <li>・受益者負担の事業の拡大</li> <li>・スポンサーの確保</li> </ul>	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>キッズリーダーリフレッシュ研修会</li> <li>キッズリーダー養成</li> <li>キッズリーダーインストラクター育成</li> </ul>	JFA,IFAとの連携	各地域の体育施設との連携	JFA,IFAとの連携	方法
人	もの	場所	費用	項目

↑

**キッズ事業に関わるスタッフ**

↑

**岩手県サッカー協会 キッズ委員会**

## 5 「サッカーを楽しもう！」

1～4に掲げたことは、岩手県サッカー協会キッズ委員会が、目指す指導の方向性を指し示すものです。特に1は、U-6からU-10までの道筋が、一目で分かるように挙げました。このような思いを持って、子どもたちがサッカーを楽しめる環境を整えていきたいと思えます。

「子どもたちがサッカーを楽しむために」この目的のために、私たちキッズに関わる指導者が、全力でがんばることが必要だと思います。一人ではできません。みなさんの力が必要です。

子どもたちのために一緒にがんばりましょう！

## 6 指導者の心構え

### (1) グリーンカード

- ・子どもたちのすてきな行動を見てあげてください。いいことをしたときに、ポジティブなフィードバックがあることで、子どものフェアプレー精神は育っていきます。
- ・最後まで一生懸命にがんばった子、素直に自分から正しいことが言えた子、転んだ友だちを助けてあげた子、上手なプレーをした子などなど、指導者が子どもたちのすてきなところを見つけて、ほめて伸ばしていきましょう。
- ・指導の際には、グリーンカードを携行し、1回の指導につき1回はグリーンカードを出すように心がけてみると、子どもたちも私たちも幸せな気持ちになりますね。

### (2) 4つの「あ」

- ・指導の時には、いつも下記に提示する4つの「あ」を心がけましょう。
  - あいさつ : 礼儀を教えましょう。
  - あくしゅ : コミュニケーションを取りましょう。
  - アイコンタクト : 目を見て話しましょう。
  - ありがとう : 感謝の気持ちを伝えましょう。

### (3) リスペクト

- ・指導者として、人間として、誰にでも同じスタンスで接することが大切です。同じ人間として、相手をリスペクト(尊敬)する気持ちを忘れずに接していきましょう。
- ・指導に体罰や暴力行為はいりません。相手をリスペクトしながら、指導者の指導力を向上させましょう。そのためには、初心に返り、「Open Mind」の心で学びましょう。
- ・JFA キッズ指導ガイドライン(U-6)の47ページにある「子は親の鏡」の考え方をいつも心に置いておきましょう。
- ・詳しくはJFAホームページの「JFA STATEMENT」を見て下さい。

平成25年4月13日設定

(文責: 岩手県サッカー協会 キッズ委員会 委員長 瀬谷圭太)